

第3期 みやざき共創都市圏ビジョン（案）

宮崎市・国富町・綾町
2025年〇月策定

目次

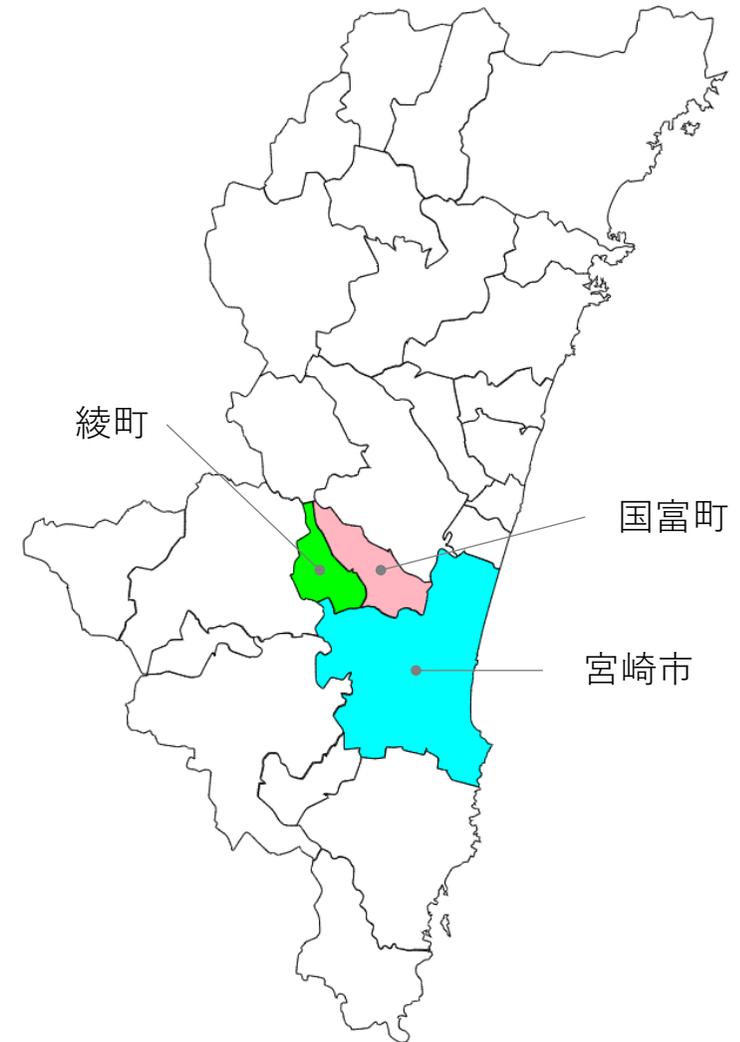
1	策定の趣旨	3
2	連携中枢都市圏の名称及び構成自治体	4
	（1）連携中枢都市圏の名称	
	（2）連携中枢都市圏の構成自治体	
3	計画期間	4
4	計画の推進	4
5	連携中枢都市及び連携市町の概要	5
6	都市機能の集積状況	9
7	圏域の状況	13
	（1）人口動態	
	（2）雇用・産業	
8	圏域の将来像	29
9	計画の体系	30
10	実施計画	32
11	資料	〇〇
	（1）重点項目とSDGs（持続可能な開発目標）の関連付け	

1 策定の趣旨

わが国の総人口は、今後の少子高齢化に伴い、過去に類を見ない勢いで急激に減少していきます。特に地方において、人口減少が顕著に表れるとされており、年齢構成が大きく変化していく中、様々な課題の顕在化・深刻化が見込まれます。

この人口減少に歯止めをかけるには、産業や都市機能が集積している宮崎市と周辺の市町村が連携して地域経済を力強くけん引し、圏域全体の活性化を図っていく必要があります。

そこで、宮崎市が圏域の連携中枢都市となって新たな価値を共に見出す「共創」の考え方を基本に、国富町や綾町をはじめ、産業界、大学や金融機関など、多様な主体と連携して、雇用の場の創出、地域や企業ニーズに合った人材の育成、地域資源を生かした交流人口の拡大などに取り組み、圏域の経済の活性化や公共サービスの確保を図る必要があることから、圏域の目指すべき将来像とその実現に向けた具体的な取組を示すものです。



2 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

- (1) 連携中枢都市圏の名称 みやざき共創都市圏
 (2) 連駅中枢都市圏の構成自治体 宮崎市（連携中枢都市）、国富町、綾町

市町名	宮崎市	国富町	綾町	合計
人口（人）	401,339	18,398	6,934	426,671
面積（K㎡）	643.67	130.63	95.19	869.49

※人口は国勢調査（2020年）、面積は2020年10月1日現在

3 計画期間

2025年度 から 2029年度 まで（5年間）

4 計画の推進

○推進体制

産官学金労言の代表者で構成する広域連携推進協議会等において、本計画に位置付けられた取組や目標の達成度合い等について、意見交換・協議を行います。

また、これらの有識者の意見や効果検証を通じて、施策のフォローアップを行うとともに、必要に応じて、計画の見直しを行います。

○行政間の連携

宮崎市、国富町及び綾町による行政間の担当者会議において、多様な分野における連携のあり方等について、意見交換・協議を行うことにより、一体的な取組の推進を図るほか、研修等を通じて、幅広い視野及び圏域をマネジメントできる能力を持った人材の育成を図ります。

5 連携中枢都市及び連携市町の概況

○圏域の概況

宮崎市及び東諸県郡の国富町、綾町からなる圏域は、宮崎県のほぼ中央に位置し、日向灘を流れる黒潮の影響を受け、温暖多雨地域に属しています。年間平均気温は18℃前後、年間平均降水量はおよそ3,000mm、日照時間も2,100時間を越え、いずれも高い数値となっています。そのような温暖で恵まれた環境や、大淀川水系で豊かに育まれた雄大で肥沃な土地を生かし、農畜産物の生産が盛んです。

また、空や海の玄関口である宮崎空港や宮崎港をはじめ、JR日豊本線や日南線などの鉄道や、宮崎自動車道、東九州自動車道、国道10号、220号、268号、269号線などの道路交通網が整備されており、交通の結節点となっています。さらに、国富町には東九州自動車道におけるスマートインターチェンジが令和元年10月6日に開通しており、高速道路の利便性向上や地域間連携に大きな役割を果たしています。

そのほか、宮崎市への通勤者及び通学者（自宅において従業する者の数を控除したもの）の割合は、国富町46.7%、綾町38.0%となっており、日常生活や経済活動でのつながりが非常に強く、これまでも消防や医療など様々な分野で連携した取組を行っています。

○宮崎市

宮崎市は、人口約40万人の県都であり、県の政治・経済・文化の中心都市として発展してきました。

また、日向灘に臨む宮崎県の中央部に位置し、雄大な自然と温暖な気候に恵まれており、安全・安心で良質な食材が豊富であることに加え、プロスポーツキャンプや各種スポーツ合宿などの開催地としても認知されています。

さらに、マリンスポーツやトレッキング、ゴルフなど、癒やしや健康を享受できる機会が身近にあるなど、とても生活しやすい環境が整っているほか、古事記など神話の舞台となった名所や旧跡地等も多く存在しています。

現在は、「挑戦し、成長する 開かれたまち～OPEN CITY MIYAZAKI～」といった将来の都市像を掲げ、中枢中核都市や連携中枢都市圏の中心都市として、人口流出を抑えるダム機能を高めるための各種施策に取り組んでいます。

【名所・旧跡】

宮崎神宮、堀切峠、青島、宮崎自然休養林、フローランテ宮崎、フェニックス自然動物園、生目の杜運動公園、生目古墳群

【名物・特産品】

完熟マンゴー、きゅうり、ピーマン、青島ういろう、鯨ようかん、うなぎ、干し大根、茶、高岡文旦、千切り大根、日向夏

【祭り・行事】

はなしょうぶまつり（5月）、まつりえれこっちゃんみやざき（7月）、みやざき納涼花火大会（8月）、宮崎神宮大祭（10月）、Jリーグキャンプ（1月～2月）、読売巨人軍・福岡ソフトバンクホークス・オリックスバファローズキャンプ（2月）

○国富町

国富町は、西方に蒼く澄む山並みを望み、そこから湧き出る清流が台地を縫って中小の河川となり、本庄川に注ぐことで、台地や河川流域に肥沃な田園が広がっています。

このような自然環境から、農業を基幹産業として発展し、近年は豊かな水資源や土地などを生かして、先端技術産業等の企業立地を進めるなど、農・商・工併進のまちづくりを目指しています。

また、自然との共生を図りながら、太陽光発電に適した環境を生かし、「クリーンエネルギー推進のまち」を提唱するとともに、町民総ぐるみの健康づくりや子育て支援など、住みよい地域社会づくりに取り組んでいます。

さらに、住民主体のイベントや特産品作りなど、住民参加のまちづくりも活発になっており、快適な田園空間に人がつながる・未来につながる・元気なまち国富づくりを進めています。

【名所・旧跡】

法華嶽公園、稻荷神社、万福寺、法華嶽薬師寺、本庄古墳群

【名物・特産品】

きゅうり、千切り大根、白玉まんじゅう、竹炭、柿ジャム、どぶろく

【祭り・行事】

稻荷神社夏祭、ヨイマカフェスティバル（8月上旬）、真冬のたなばた

○綾町

綾町は、自然と共生するまちづくりを半世紀にわたって進めており、日本最大の照葉樹林の保全・保護に取り組む「照葉樹林の町」、木工品、陶器、染織物等の伝統工芸品を生かした「手づくり工芸の町」、自然を守る取組が世界的に評価され、ユネスコエコパークに認定された2012年からは「ユネスコエコパークの町」として発展してきました。照葉大吊橋、綾城・綾国際クラフトの城のほか、名水百選の綾町湧水群とその水を活かした酒泉の杜、農業や工芸、森林セラピーやカヌーなどの体験メニューなど、産業観光の町としての評価も高く、多くの観光客が訪れます。

また、全国に先駆け、食の安全性を追求する「自然生態系農業の推進に関する条例」や「綾町オーガニック給食の推進に関する条例」を制定し、健康志向の農産物の生産や、有機給食を推進しています。

さらに、綾小学校と綾中学校は2014年にユネスコスクールに加盟しており、ユネスコエコパークと連携した取り組みが行われているのも特徴のひとつです。

【名所・旧跡】

綾の照葉大吊橋と照葉樹の森、綾馬事公苑（花時計）、酒泉の杜、綾城

【名物・特産品】

有機農産物、日向夏、綾牛・綾ぶどう豚、工芸品、鮎料理、猪料理、酒（日本の南限酒）、焼酎等

【祭り・行事】

綾の花火大会（10月下旬）、綾競馬（11月上旬）、綾工芸まつり（11月中旬）、Jリーグキャンプ（2月）、綾雛山祭り（2月下旬～3月上旬）

6 都市機能の集積状況

分野	都市機能	機関・施設名等
医療体制	第三次救急医療機関 (救命救急センター)	県立宮崎病院、宮崎大学医学部附属病院
	第二次救急医療機関	宮崎江南病院、古賀総合病院、竹内病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎生協病院、金丸脳神経外科病院、迫田病院、南部病院、潤和会記念病院、クリニックうしたに、国立病院機構宮崎東病院、宮崎医療センター病院、宮崎市立田野病院、上田脳神経外科
	地域医療支援病院	宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、古賀総合病院、県立宮崎病院
	基幹災害拠点病院	県立宮崎病院、宮崎大学医学部附属病院
	地域災害拠点病院	宮崎市郡医師会病院、宮崎善仁会病院
	総合周産期母子医療センター	宮崎大学医学部附属病院
	地域周産期母子医療センター	県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院
障がい者支援施設	宮崎県立こども療育センター、宮崎市総合発達支援センター、宮崎市歯科福祉センター、宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター、地域活動支援センターⅢ型事業所	
子育て支援施設	ファミリー・サポート・センターみやざき、地域子育て支援センター（圏域内40箇所）	

分野	都市機能	機関・施設名等
高等 教育機関等	大学院	宮崎大学、宮崎県立看護大学、南九州大学
	大学	宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、南九州大学、宮崎産業経営大学、宮崎国際大学
	短期大学	南九州大学短期大学部、宮崎学園短期大学
	専修学校	宮崎ユニバーサル・カレッジ、九州医療科学大学専門学校、向洋学園高等専修学校、宮崎マルチメディア専門学校、マナビヤ宮崎アカデミー、宮崎ビジネス公務員専門学校、宮崎医療管理専門学校、宮崎情報ビジネス専門学校、大原簿記公務員専門学校、宮崎ペットワールド専門学校、宮崎サザンビューティ専門学校、宮崎こども・医療専門学校、日本スポーツビジネス専門学校、宮崎ブライダル&医療スポーツ専門学校、宮崎保健福祉専門学校、北九州予備校宮崎校、宮崎看護専門学校、宮崎歯科技術専門学校、宮崎リハビリテーション学院、フィオーレKOGA看護専門学校、宮崎美容専門学校
	その他	航空大学校
中小・地域金融機関等 (圏域内に本店所在)		宮崎銀行、宮崎太陽銀行、宮崎第一信用金庫、宮崎県信用農業協同組合連合会
工業団地		宮崎テクノロジーパーク、佐土原中央工業団地、石崎工業団地、倉岡ニュータウン業務用地、花見工業団地、宮崎ハイテク工業団地、尾ノ下工業団地、宮崎学園都市ハイテクパーク、今泉工業団地、沓掛工業団地、前平工業団地、ハイテクランド尾脇、田野町西工業団地、築地原工業団地、宮崎港分譲地、第2花見工業団地

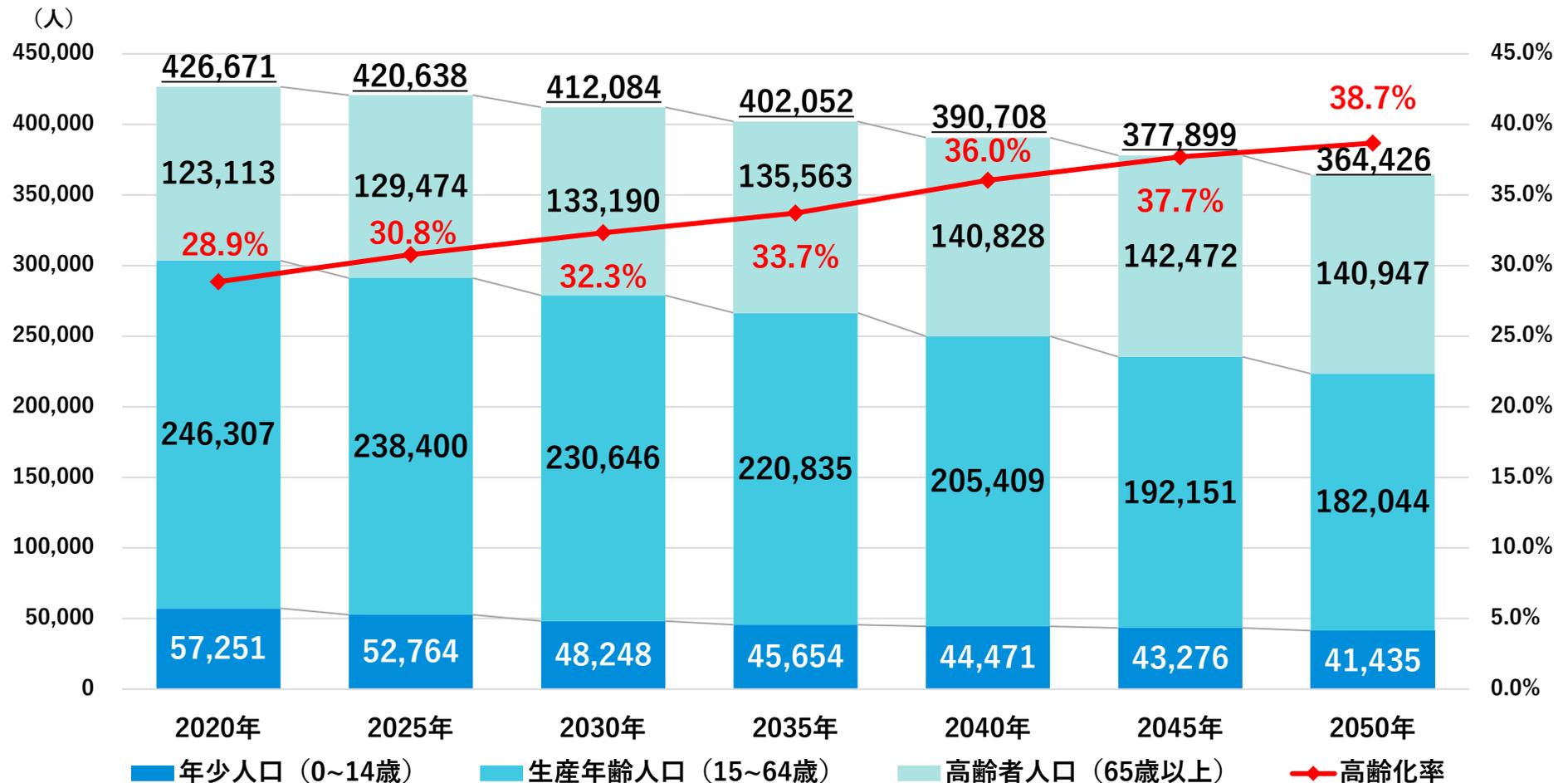
分野	都市機能	機関・施設名等
	観光	青島神社、宮崎神宮、道の駅フェニックス、フローランテ宮崎、宮崎市フェニックス自然動物園、酒泉の杜（綾町）、綾の照葉大吊橋（綾町）、法華嶽公園（国富町）
コンベンション	MICE施設 （大ホール2,000人以上）	シーガイアコンベンションセンター、宮崎観光ホテル
	大型文化施設 （大ホール1,800席以上）	宮崎市民文化ホール、宮崎県立芸術劇場
文化 ・スポーツ	美術館・博物館	宮崎県立美術館、宮崎県総合博物館
	図書館	宮崎県立図書館、宮崎市立図書館、宮崎市立佐土原図書館、国富町立図書館、綾てるは図書館
	ゴルフ場（プロトーナメント開催会場）	フェニックスカントリークラブ、宮崎カントリークラブ、UMKカントリークラブ
	スポーツ拠点施設	宮崎県総合運動公園、アミノバイタルトレーニングセンター宮崎、宮崎市生目の杜運動公園、宮崎市清武総合運動公園、宮崎市久峰総合公園、宮崎県体育館、宮崎市総合体育館、シーガイアテニスクラブ、アリーナくにとみ（国富町）、綾町錦原運動公園（綾町）、綾町てるはドーム（綾町）
	その他の施設	宮崎科学技術館、みやざきアートセンター

分野	都市機能	機関・施設名等
交通	空港	宮崎 ⇄ 東京（羽田・成田）、大阪（伊丹・関西）、名古屋（中部）、福岡、那覇、ソウル（仁川）、台北（桃園）
	高速道路	九州縦貫自動車道（宮崎IC、田野IC）、東九州自動車道（清武南IC、清武IC、宮崎西IC、国富SIC）
	主要駅	J R 宮崎駅、J R 南宮崎駅、J R 宮崎空港駅
	高速バス	宮崎 ⇄ 延岡、高千穂、福岡、熊本、新八代
	長距離フェリー	宮崎 ⇄ 神戸
その他	保健所	宮崎市保健所、宮崎県中央保健所
	消費生活センター	宮崎市消費生活センター、宮崎県消費生活センター
	廃棄物処理施設	エコクリーンプラザみやざき

7 圏域の状況

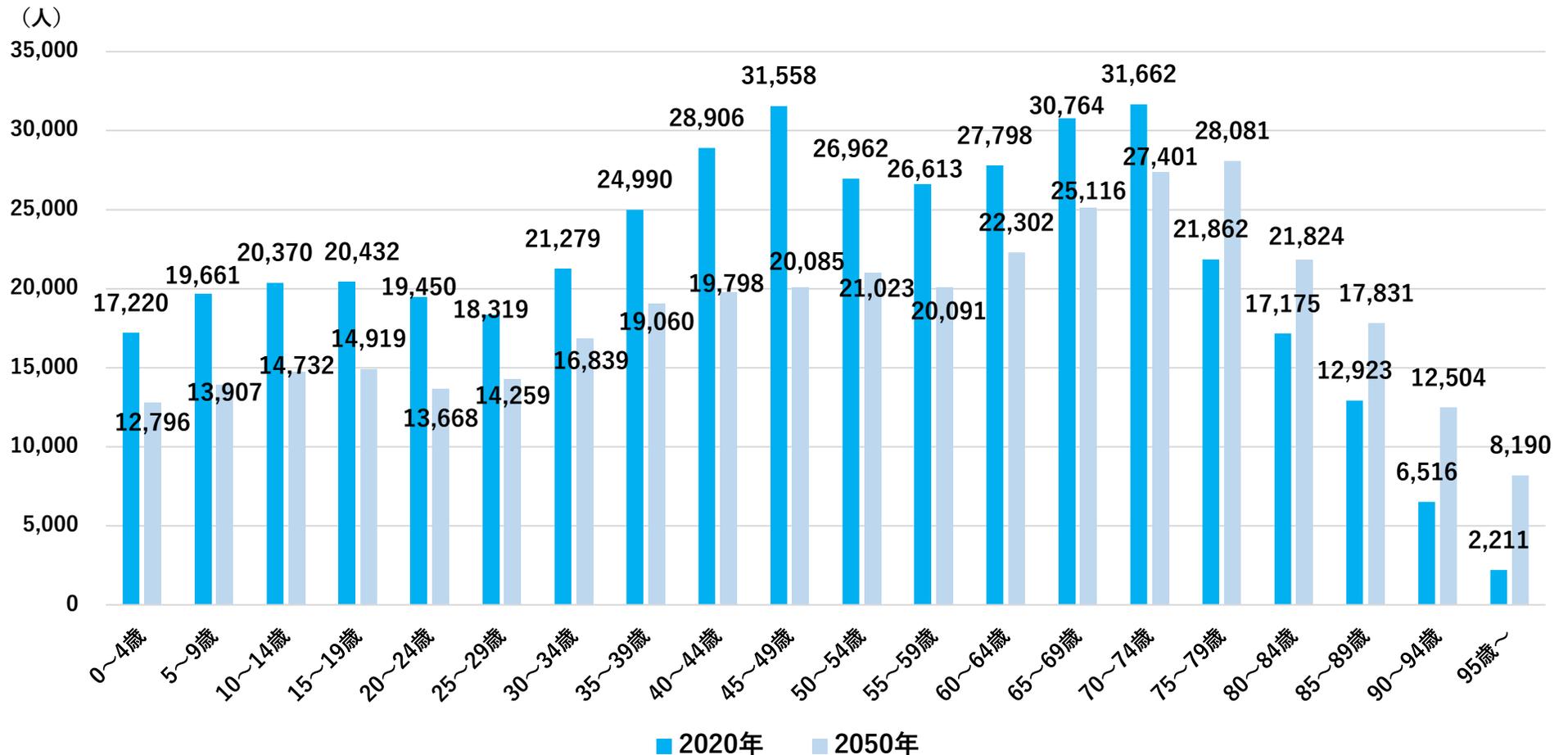
○圏域の人口推移・将来推計人口

2020年の国勢調査結果を基準とした将来推計人口では、圏域の総人口は、今後も減少傾向が続き、2040年には40万人を下回ることが見込まれます。



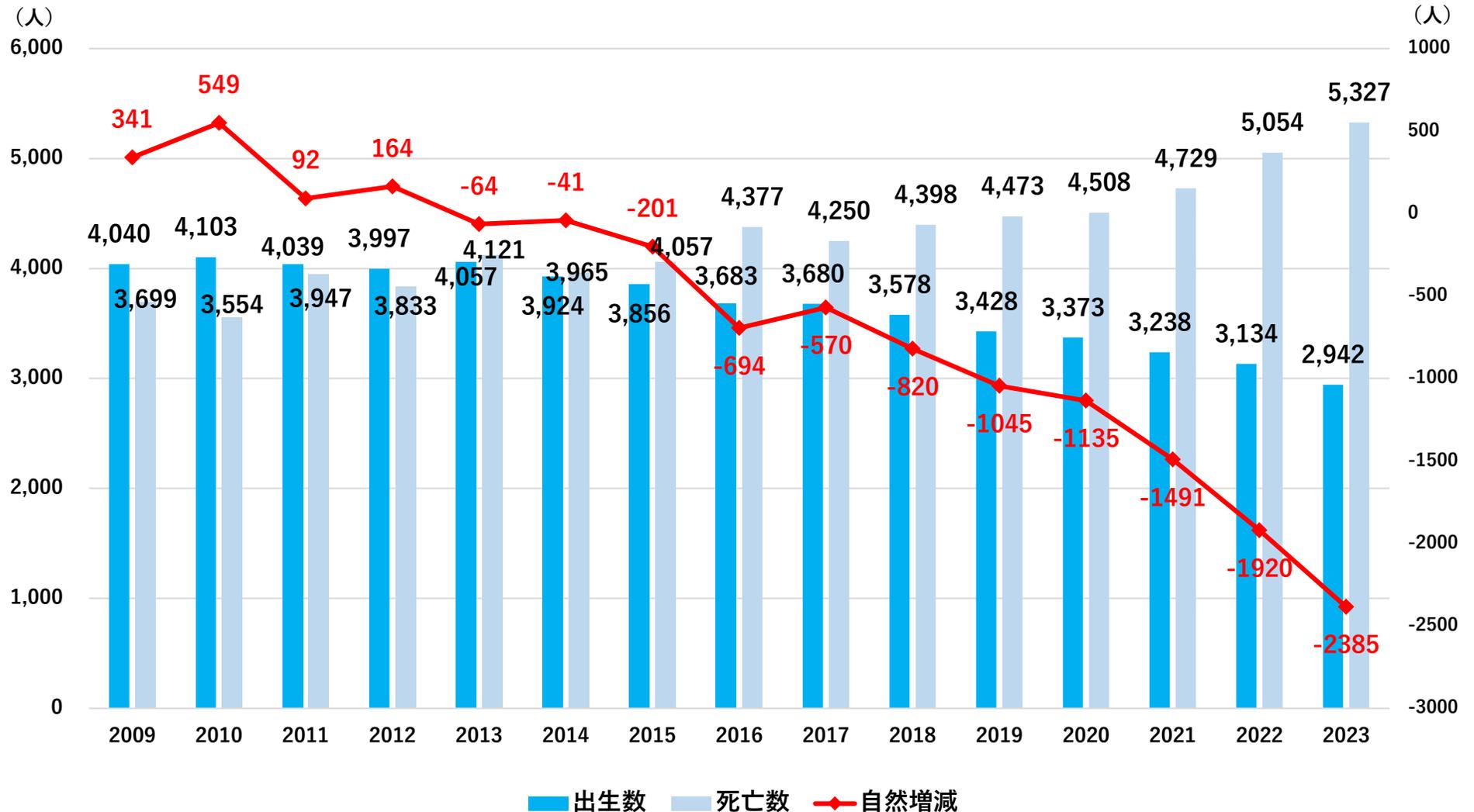
○圏域の年齢5歳階級別将来推計人口

圏域の年齢5歳階級別の将来推計人口は、74歳までのすべての年齢層において、人口の減少が見込まれているほか、特に、40歳代の年齢層の人口減少が顕著となっています。一方で、75歳以上の後期高齢者人口は増加することが見込まれています。



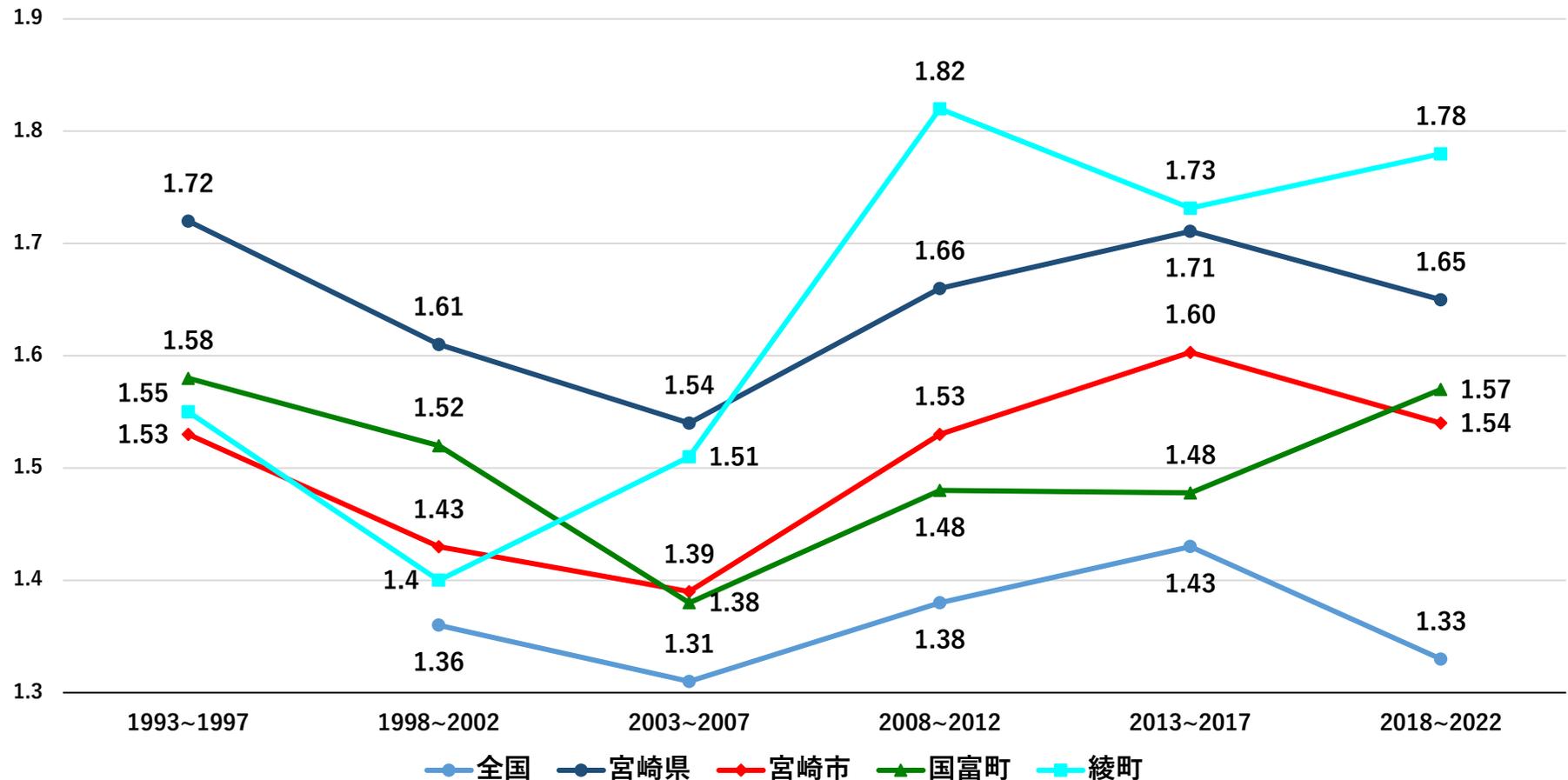
○圏域の自然動態

圏域の出生数は減少傾向となっており、2023年に3,000人を下回りました。その一方で、死亡数は増加しているため、その差し引きである自然増減は2013年以降、自然減となっています。



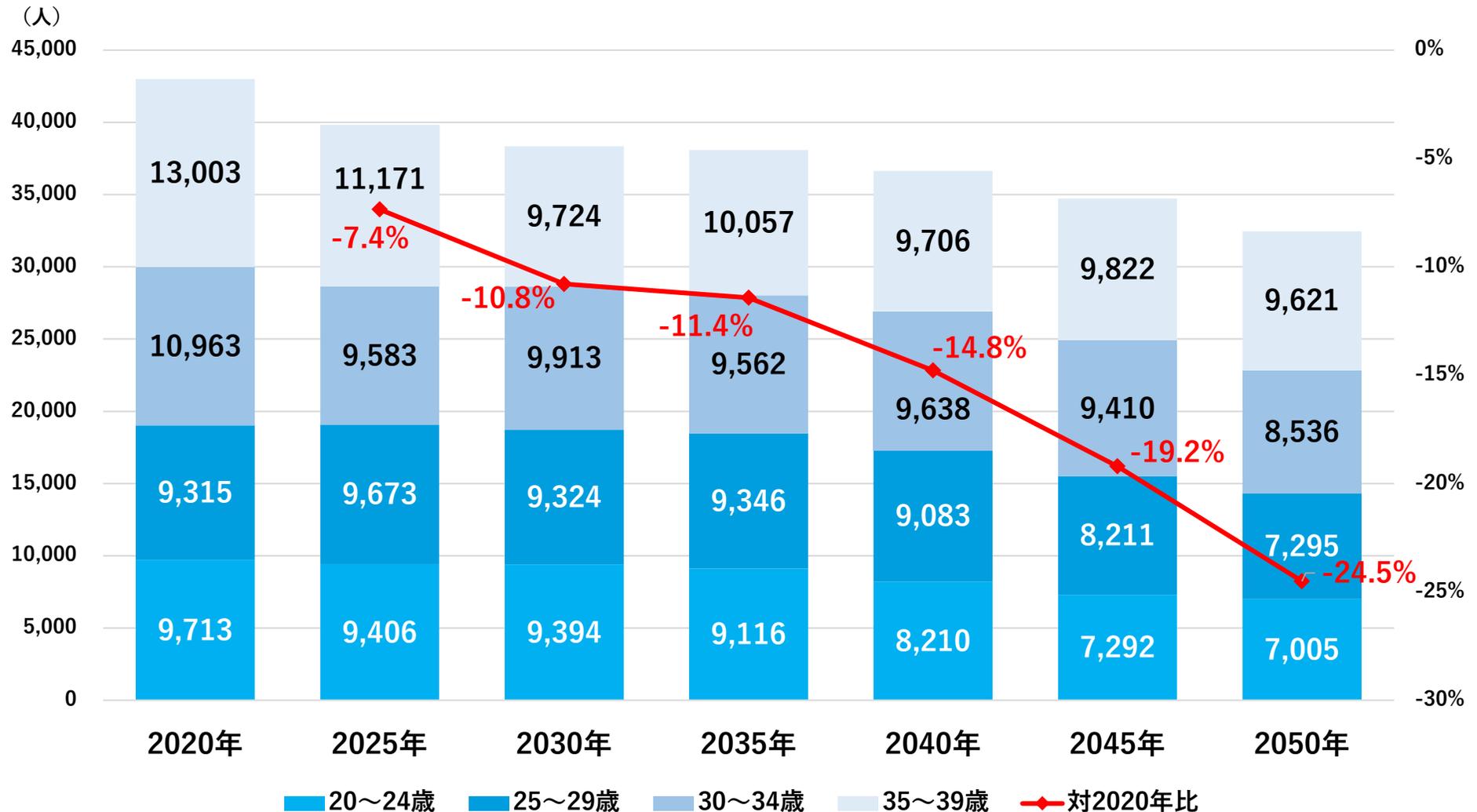
○合計特殊出生率

宮崎市と国富町の合計特殊出生率は、宮崎県全体よりも低く推移していますが、綾町は2008年から2012年までの期間以降、合計特殊出生率が大きく増加しており、近年も宮崎県全体より高く推移しています。なお、1市2町とも人口の増減が均衡した状態となる人口置換水準（2.07）には届いていない状況です。



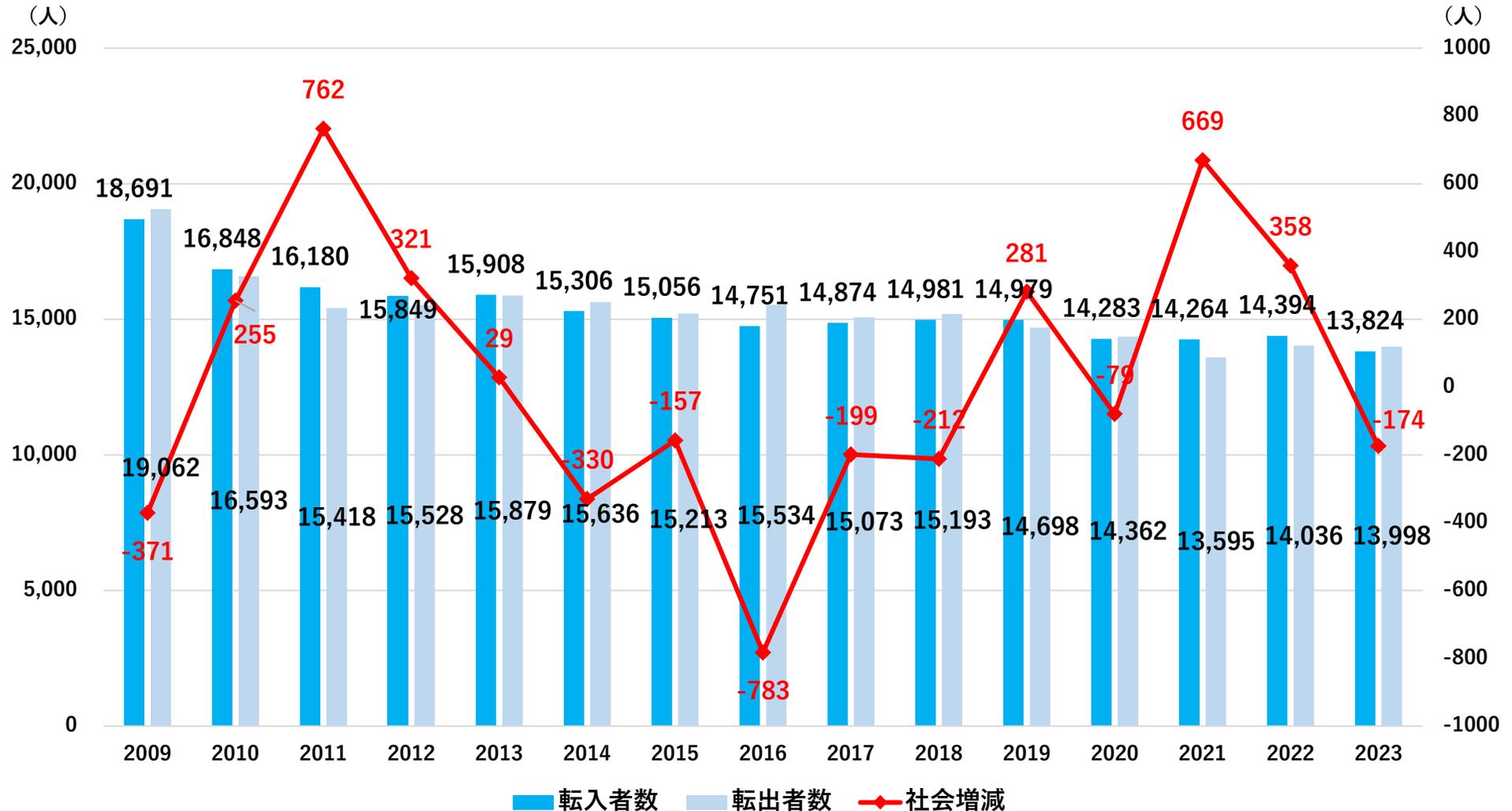
○圏域の若年女性人口の将来推計

圏域の若年女性人口（20～39歳）は、減少傾向となっていますが、その総数は、2020年時点と比較すると、2050年にはマイナス24.5%となることを見込まれています。



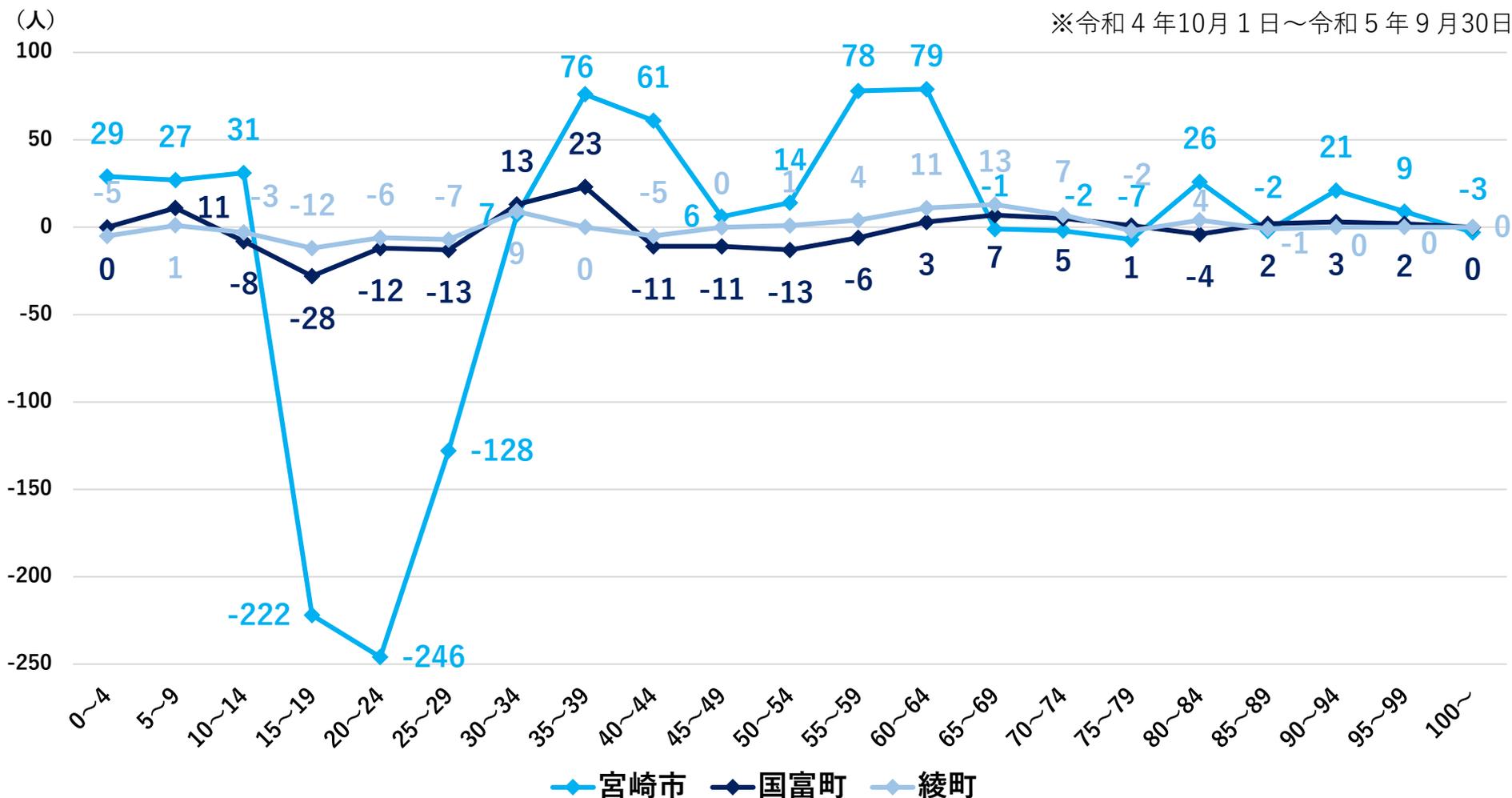
○圏域の社会動態

圏域の社会動態は、2016年における783人の社会減を下限として、一時、増加傾向にありましたが、近年は再び減少傾向となっており、直近の2023年は174人の社会減となっています。



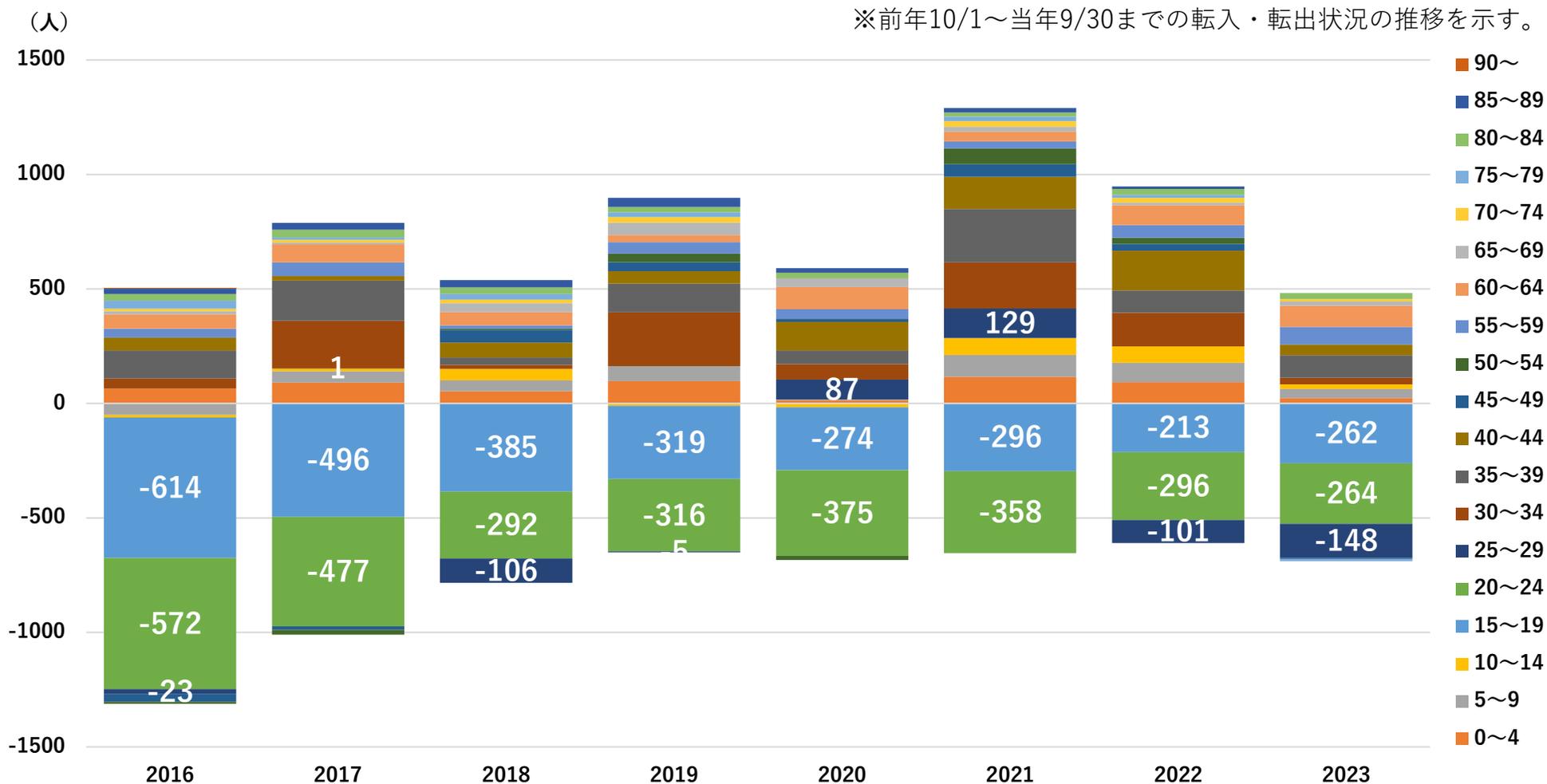
○年齢5歳階級別社会動態

宮崎市は、10～20代の年齢層の社会減が顕著となっていますが、国富町・綾町も同様の傾向がみられます。また、30代以降では、宮崎市・綾町は社会増となっている年代が多い傾向にあります。



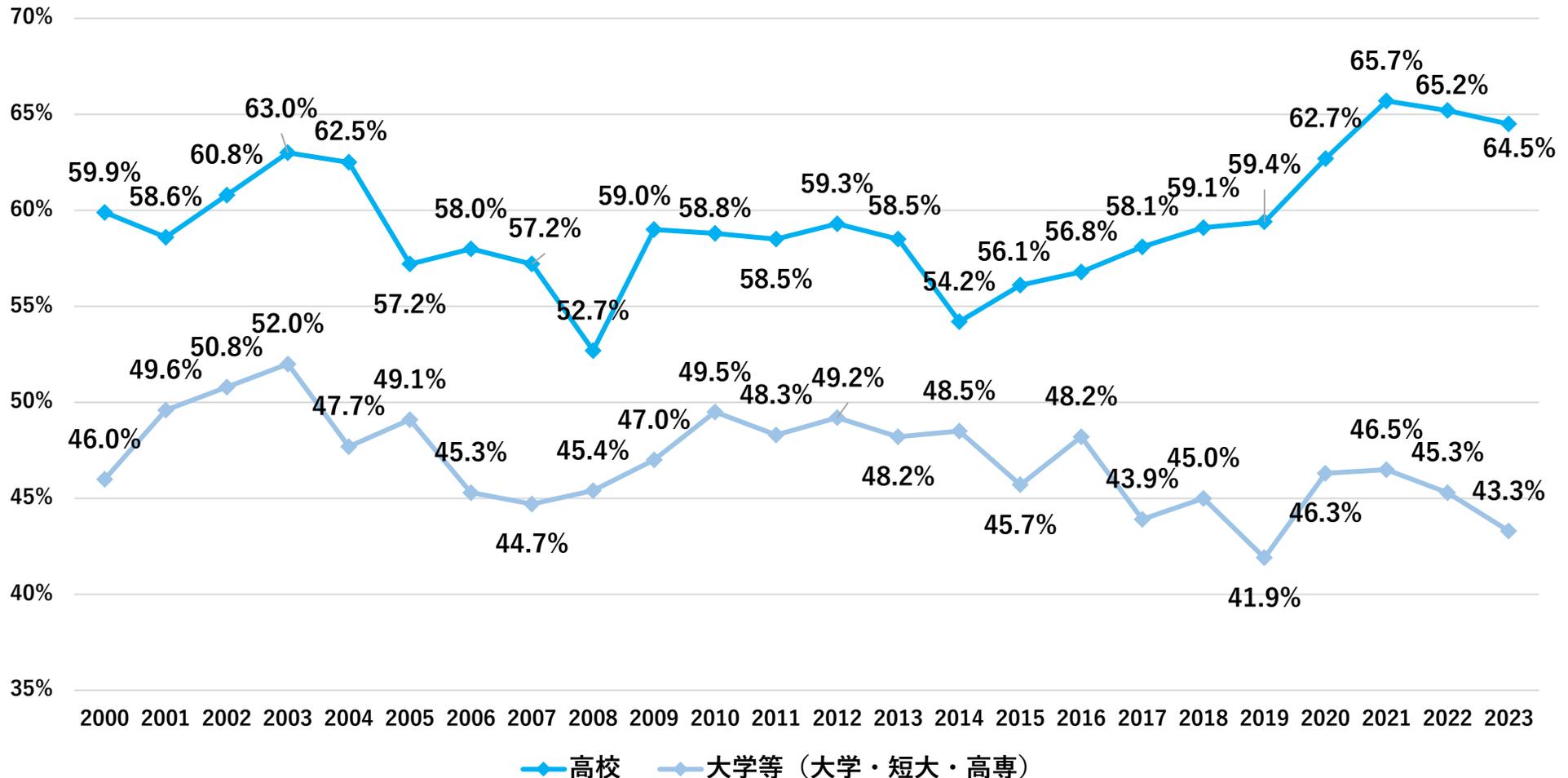
○年齢5歳階級別転入・転出状況の推移

これまで、進学・就職のタイミングである15～19歳、20～24歳の層の転出超過が顕著となっています。また、近年は、25～29歳の層の転出超過も大きくなってきています。



○県内新規学卒者の県内就職内定率

これまで、県内新規学卒者の県内就職内定率は、大学等（大学・短大・高専）の学卒者が約40～50%、高校の学卒者が約55～65%で推移しています。高校の学卒者は2014年以降、上昇傾向にありましたが、近年は、大学等の学卒者と同様に減少傾向となっています。



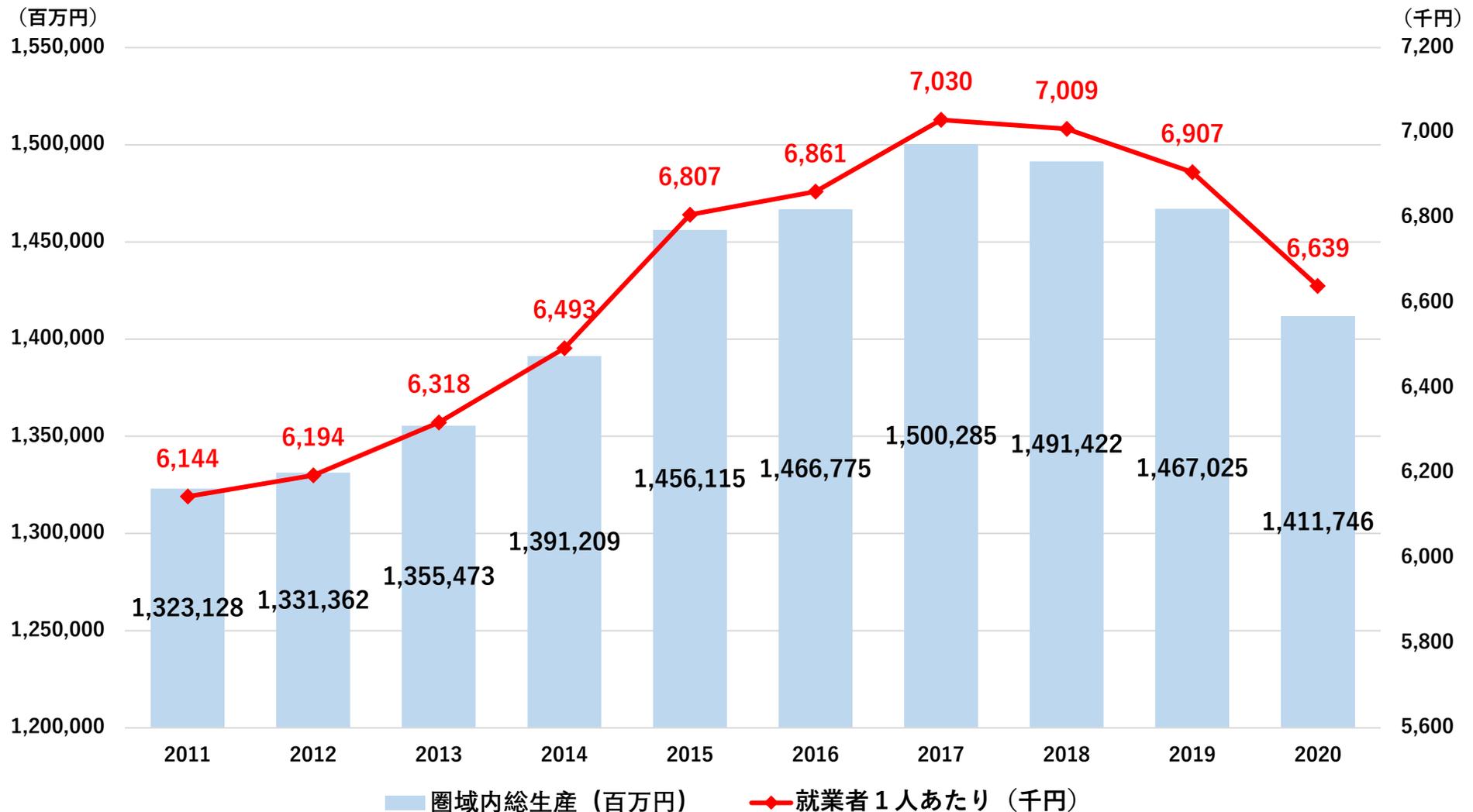
○圏域内の宮崎市への通勤・通学状況

同一市町内で通勤・通学をする人の割合は、宮崎市98.3%、国富町49.2%、綾町49.0%となっております。また、宮崎市へ通勤・通学をする人の割合は、国富町46.7%、綾町38.0%となっており、高い割合を占めていることが分かります。

			従業地・通学地						
			宮崎市		国富町		綾町		全体
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
常住地	宮崎市	就業者(自宅除く)	145,355	98.2%	2,188	1.5%	524	0.4%	148,067
		通学者	16,426	99.6%	67	0.4%	0	0.0%	16,493
		小計	161,781	98.3%	2,255	1.4%	524	0.3%	164,560
	国富町	就業者(自宅除く)	3,111	45.2%	3,458	50.3%	307	4.5%	6,876
		通学者	373	63.1%	217	36.7%	1	0.2%	591
		小計	3,484	46.7%	3,675	49.2%	308	4.1%	7,467
	綾町	就業者(自宅除く)	902	35.0%	343	13.3%	1,333	51.7%	2,578
		通学者	163	72.1%	22	9.7%	41	18.1%	226
		小計	1,065	38.0%	365	13.0%	1,374	49.0%	2,804

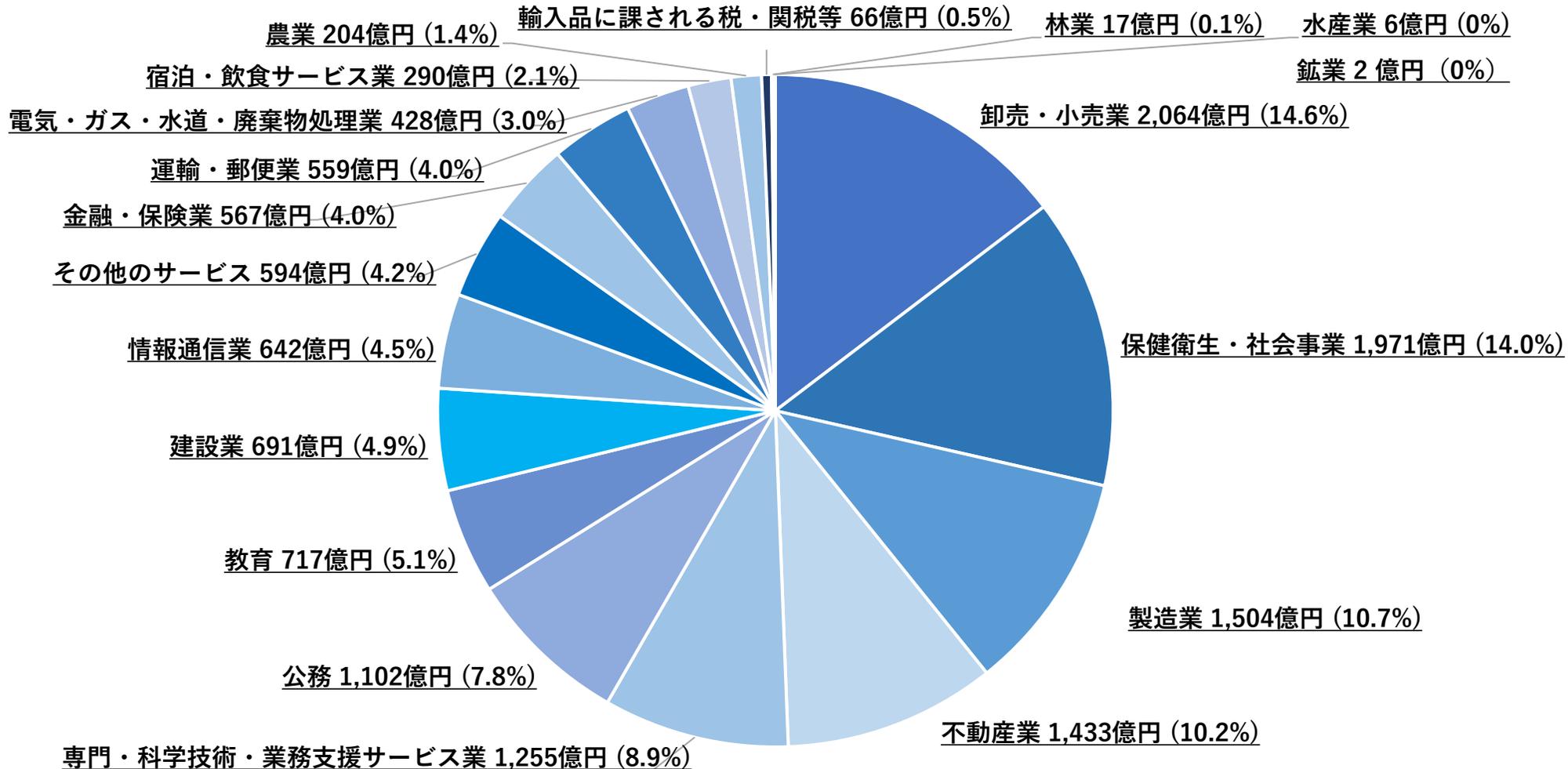
○圏域内総生産

圏域の総生産は、2017年をピークとして、近年は減少傾向にあります。ただし、宮崎市域の総生産が全体の約90%を占めていることから、宮崎市域の総生産の推移が大きな影響を与えています。



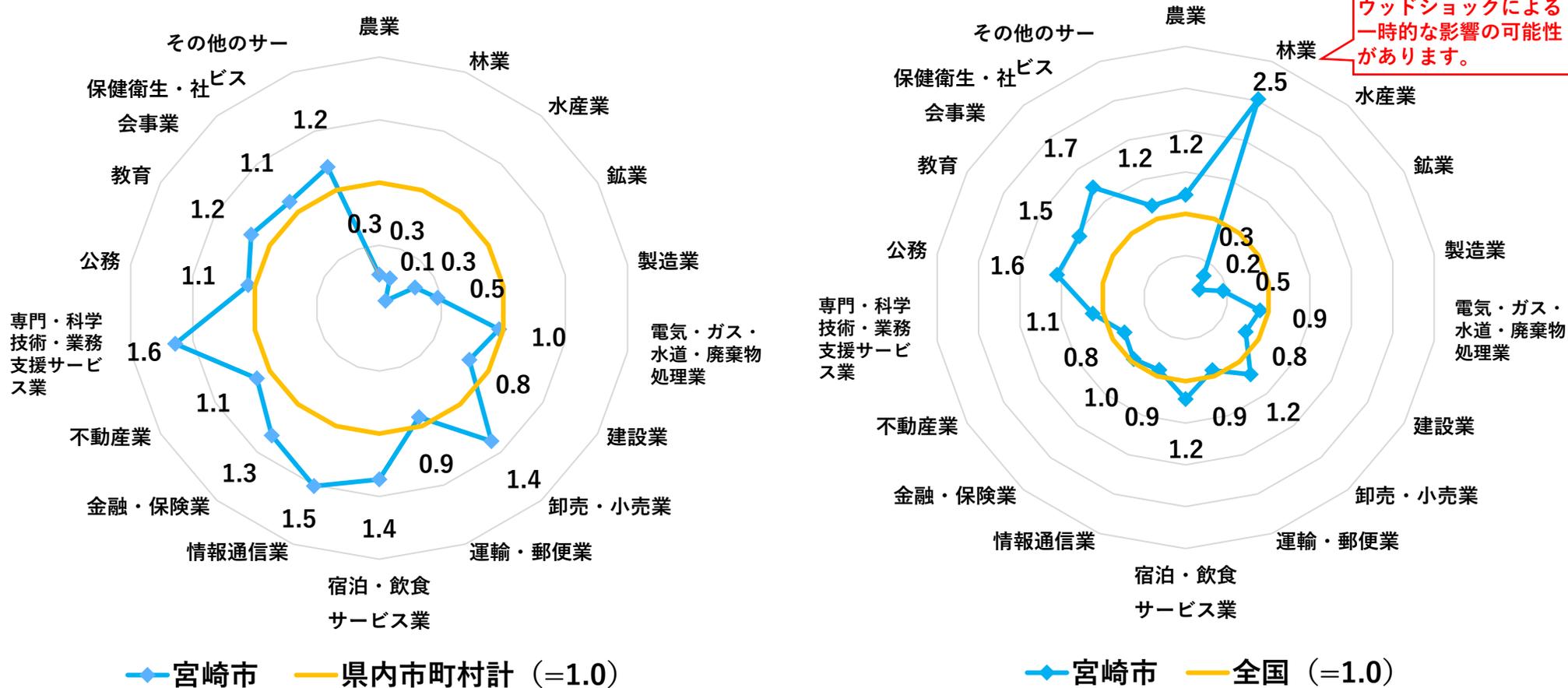
○圏域内総生産（分野別）

圏域の総生産は、卸売・小売業が14.6%となっており、最も大きな割合を占めています。その次に、保健衛生・社会事業（14.0%）、製造業（10.7%）、不動産業（10.2%）が続いています。



○生産額に基づく産業別特化係数（宮崎市）

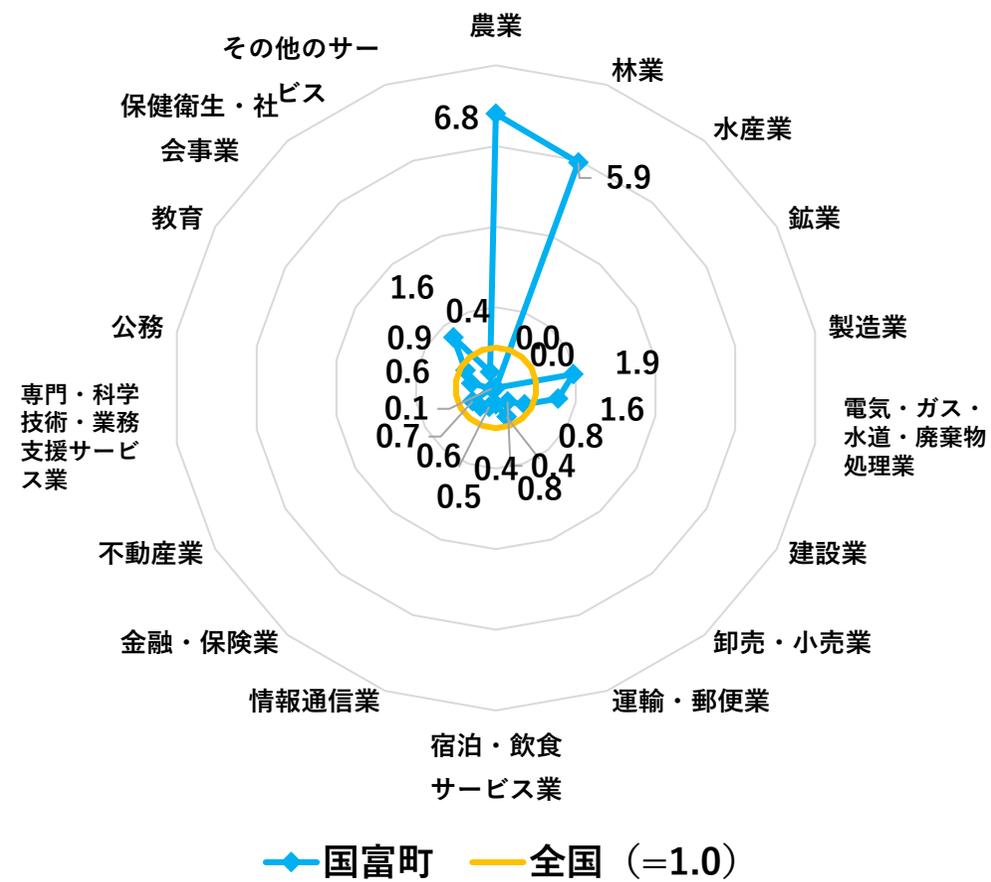
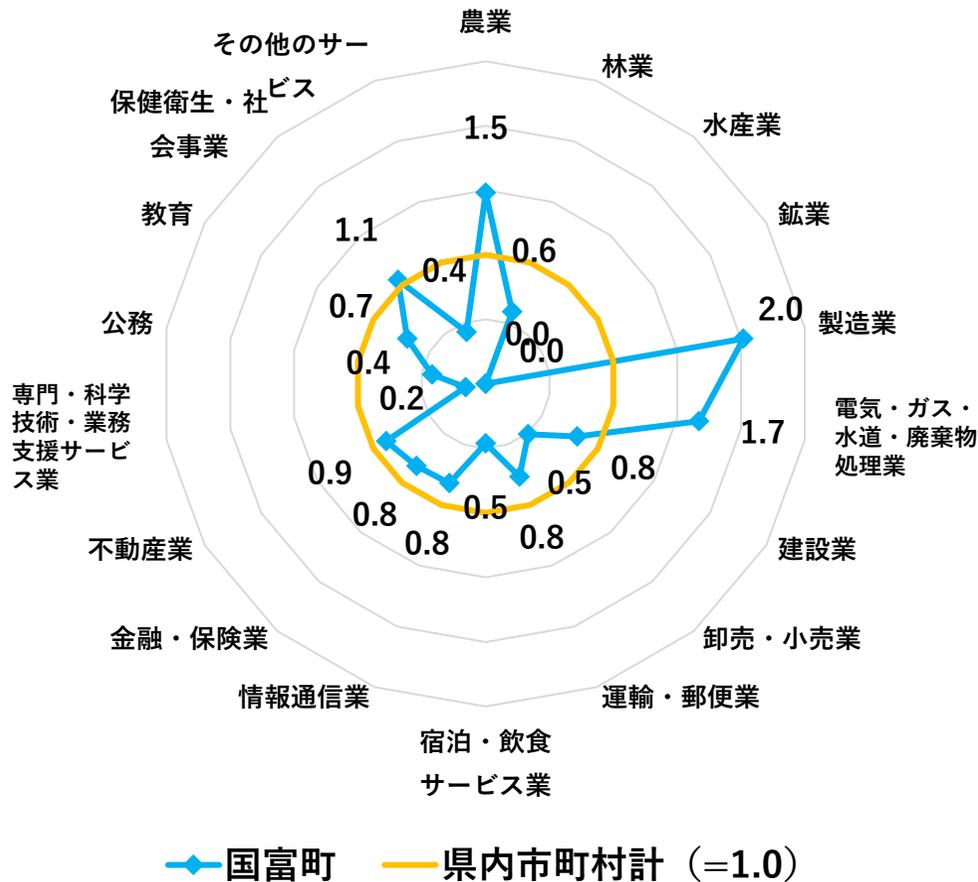
生産額に基づく宮崎市の産業別特化係数は、県内市町村と比較すると、専門・科学技術・業務支援サービス業が最も高く、その次に、情報通信業が続きます。全国と比較すると、林業が最も高く、その次に、保健衛生・社会事業が続いています。



※特化係数：産業別の構成比を全国等の平均的な構成比と比較することで、その地域がどの産業に特化しているのかを示す指標。特化係数が1を超えると、相対的に特化している（強い）産業であり、1を下回ると特化していない（弱い）産業となる。

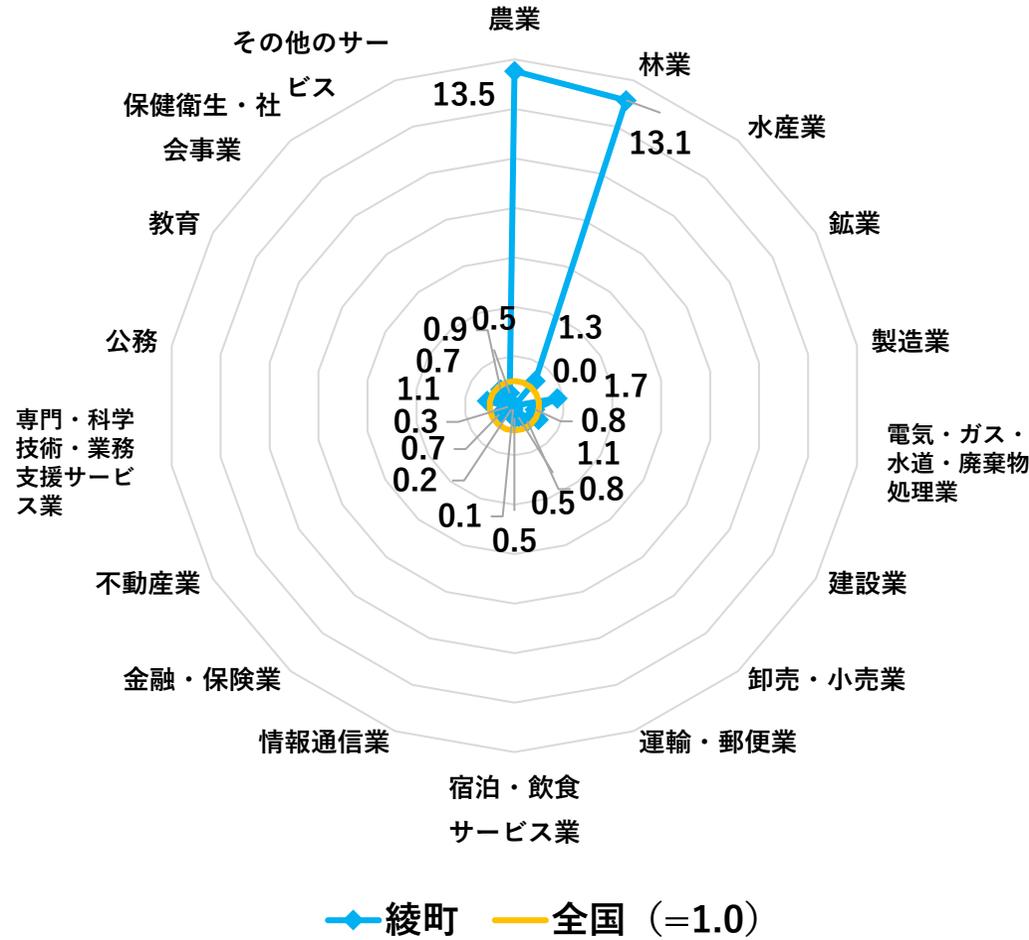
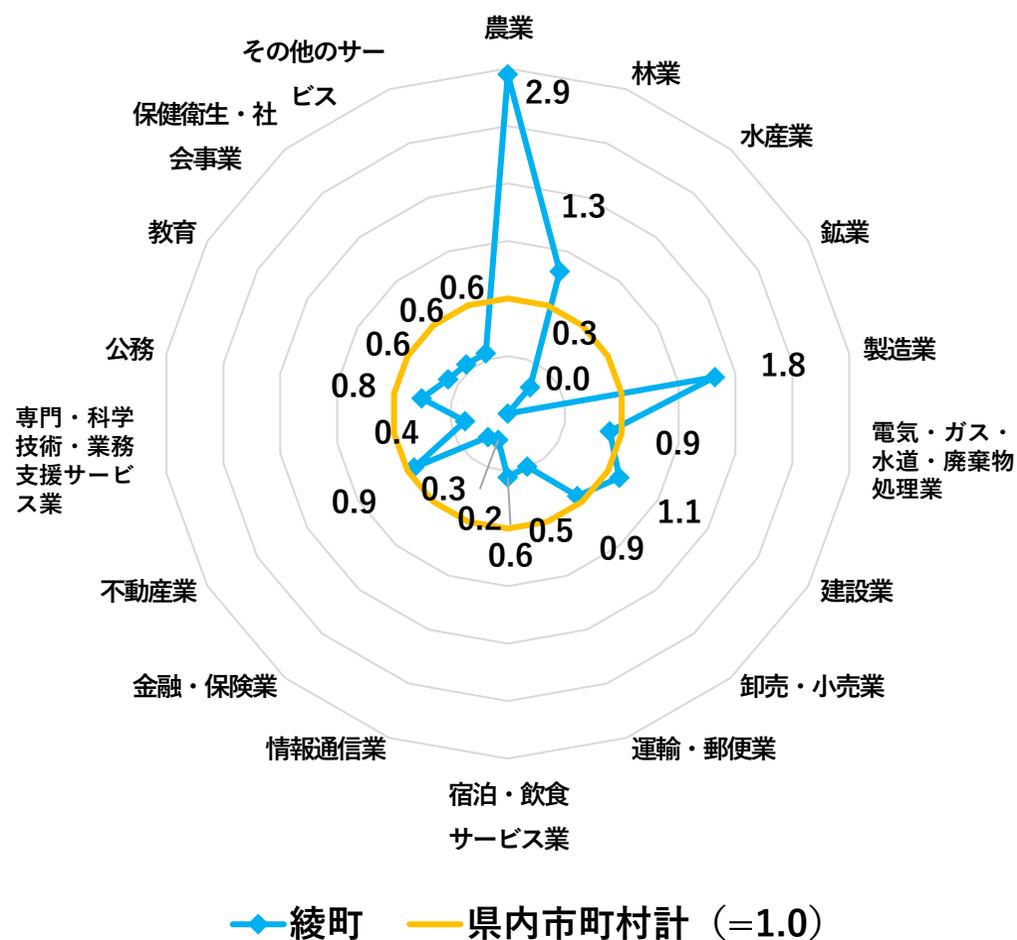
○生産額に基づく産業別特化係数（国富町）

生産額に基づく国富町の産業別特化係数は、県内市町村と比較すると、製造業が最も高く、その次に、電気・ガス・水道・廃棄物処理業が続きます。全国と比較すると、農業が最も高く、その次に、林業が続いています。



○生産額に基づく産業別特化係数（綾町）

生産額に基づく綾町の産業別特化係数は、県内市町村と比較すると、農業が最も高く、その次に、製造業が続きます。全国と比較すると、農業が最も高く、その次に、林業が続いています。



○圏域の産業別事業従事者数・純付加価値額

産業大分類	事業従事者数（人）	純付加価値額 【百万円】	従事者1人あたり 純付加価値額【万円】	純付加価値額 構成比（％）
全産業	181,928	708,717	390	100.0%
農林漁業	2,304	6,217	270	0.9%
鉱業，採石業，砂利採取業	62	0	0	0.0%
建設業	12,372	68,279	552	9.6%
製造業	16,447	71,973	438	10.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	730	13,791	1,889	1.9%
情報通信業	4,389	25,277	576	3.6%
運輸業，郵便業	9,076	1,797	20	0.3%
卸売業，小売業	38,975	149,970	385	21.2%
金融業，保険業	5,437	35,153	647	5.0%
不動産業，物品賃貸業	3,768	21,069	559	3.0%
学術研究，専門・技術サービス業	5,204	25,088	482	3.5%
宿泊業，飲食サービス業	16,065	25,648	160	3.6%
生活関連サービス業，娯楽業	8,064	17,977	223	2.5%
教育，学習支援業	8,252	28,841	350	4.1%
医療，福祉	32,952	133,286	404	18.8%
複合サービス事業	975	3,606	370	0.5%
サービス業（他に分類されないもの）	16,856	47,702	283	6.7%

※公務が除かれているため、合計（全産業）が合わない項目があります。

8 圏域の将来像

みやざき共創都市圏では、多様な主体が連携し、新たな価値を共に見出す「共創」の考え方を基本に、圏域の活性化を図っていくこととしています。

また、圏域の特性や特長をもとに、圏域のあるべき姿を整理し、これらを集約するかたちで、圏域の将来像を定めています。

○圏域のあるべき姿

1市2町が締結している連携協約における3つの基本的な方針（①圏域全体の経済成長のけん引、②高次の都市機能の集積・強化、③圏域全体の生活関連機能サービスの向上）に基づき、みやざき共創都市圏の将来像の達成に向けた取り組みを行っていくことから、その3つの基本的な方針すべてに圏域のあるべき姿を定めています（詳細は次ページ）。

○圏域の将来像

「地域に愛着を持ち、新たな価値を共に築くまち」

9 計画の体系（圏域のあるべき姿）

基本目標

圏域のあるべき姿

圏域全体の 経済成長のけん引

- ・ヒト、モノ、カネ、情報が自由に行き交い、新たな産業が創出されるとともに、地元企業の成長を促進するため、新分野への進出、海外展開に積極的に挑戦できる環境が整っている
- ・ローカルスタートアップの創出など、起業・創業に挑戦できる環境が整っている
- ・異業種間のマッチング等、圏域の資源を有効に活用し、産業の裾野拡大及び地域経済の活性化が図られている
- ・民間投資によるまちなかの賑わい創出を目的とした空間形成などにより、中心市街地が活性化している
- ・民間投資により、多様な都市機能の集約・充実が図られている
- ・国内外からの旅行者に対して認知され、受入環境整備により滞在時間の延長や周遊が図られることで、魅力的な観光地域づくりが進み、観光入込客数や観光消費額が増加している
- ・食や自然のほか、スポーツなどのあらゆる地域資源の活用により、観光地としての価値が向上している
- ・交通・物流ネットワークの最適化や工業用地の確保など、経済成長に必要な基盤が整っている
- ・付加価値の高いフードビジネスの進展により、海外市場も視野に入れた販路や産業の裾野が拡大している
- ・担い手不足を補うスマート技術の活用により、持続可能な農林水産業が確立されている
- ・若者が地元企業を選択したり、一旦県外に出ても地元に戻ってきたいと思えるような就労環境が整っている

高次の都市機能の 集積・強化

- ・質の高い医療サービスが提供されている
- ・基幹道路等のインフラ、広域公共交通網が構築され、集積された都市機能が有効に活用されている
- ・民間投資により、多様な都市機能の集約・充実が図られている（再掲）
- ・高等教育機関の地元貢献が進んでおり、地域に貢献する人材が育成されている

圏域全体の 生活関連機能 サービスの向上

- ・医療、福祉、介護分野における人材が確保・育成されるとともに、生産性向上につながる取組の推進により、サービス提供体制が確保されている
- ・健康寿命が延び、住民が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしている
- ・子どもをまんなかに考えた施策の推進により、子どもたちが健やかで幸せに成長している
- ・出会い、結婚、妊娠・出産を願う若者が希望を実現でき、安心して産み育てることができる
- ・ICTの活用や教育DXの推進等により、子どもたちが自らの学びを選択し、主体的に学びを進めることができるほか、一人一人の個性や多様性を大切に支援と教育を受けている
- ・国内外に宮崎の文化を発信し、認知度が高まっている
- ・わが国有数の食料供給基地として確固たる地位を築いている
- ・空き地、空き家、空き店舗などが有効に利活用されている
- ・外国人材やグローバル人材を含め、年齢や性別にとらわれない多様な人材が活躍している
- ・地域の多様な主体が連携し、自立性の高いコミュニティが形成されている
- ・消費生活相談対応の充実など、住民が安全・安心に暮らしている
- ・災害時における総合的な防災・減災体制や復旧・復興に向けた体制が確立されている
- ・大規模災害時の広域的支援体制が構築され、避難場所の整備が進んでいる
- ・再生可能エネルギー普及の促進、省エネルギーの推進のほか、環境負荷の少ない生活パターンへの行動変容の促進など、脱炭素社会の実現に向けた取組が進んでいる
- ・山林や河川が保全され、多面的で公益的な機能が維持されている
- ・消防行政における警防、予防、救急、救助等の各分野の充実強化が図られている
- ・コミュニティバスやデマンド交通など、地域の実情に応じた公共交通が構築されている
- ・基幹道路等のインフラ、広域公共交通網が構築され、集積された都市機能が有効に活用されている（再掲）
- ・地域で生産された食材が地域で消費されている
- ・圏域の魅力の効果的な発信など、地域連携の取組が推進され、移住や定住につながっている

9 計画の体系（体系図）

基本目標	重点項目	主要施策	
経済成長のけん引 圏域全体の	1 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	1 生産性の向上及び設備投資の促進	2 起業・創業の促進
	2 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	1 人材育成・ネットワークづくり	2 活力ある中心市街地の創出
	3 戦略的な観光施策の推進	1 地域資源を生かした持続可能な観光地域づくりの推進 2 スポーツランドみやざきの推進 4 インバウンドの誘客促進	3 情報発信および受入環境の充実
	4 圏域全体の経済成長のけん引に係るその他施策の推進	1 物流体制の整備 2 国内外の市場開拓 4 雇用環境の改善及び雇用形態の多様化	3 地元企業への就職を促す仕組みの構築 5 外国人材の受入環境の整備
集積・強化 機能の都市 高次の	5 高度な医療サービスの提供	1 質の高い医療サービスの提供	2 地域災害拠点病院の運営支援
	6 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	1 都市機能の集約化	2 広域公共交通網の構築
	7 高等教育・研究開発の環境整備	1 地域及び企業ニーズに対応した人材の育成	2 高等教育機関における専門性の向上等
圏域全体の生活関連機能 サービスの向上	8 生活機能の強化	1 地域医療の充実 3 子育て支援の充実 5 土地・建物の利活用の推進 7 災害対策の推進 9 消防機能の充実・強化	2 介護及び障がい福祉の充実 4 教育環境の充実及び伝統文化の伝承 6 地域振興の推進 ※多様性を認め合う社会づくりの推進を含む 8 環境保全の推進
	9 結びつきやネットワークの強化	1 地域公共交通の充実 3 農林水産物の地産地消の推進	2 道路及び河川等のインフラの整備・維持 4 地域内外の住民との交流・移住促進

10 実施計画

○横断的な視点

実施計画は、本計画に掲げる「圏域の将来像」および「圏域のあるべき姿」の実現、さらには3つの「基本目標」を達成するための具体的な方策をまとめたものです。本計画の推進にあたっては、行政だけではなく圏域の住民一人ひとりをはじめ多様な主体とともに、「圏域の将来像」および「圏域のあるべき姿」を共有し、それぞれの立場で各種取組を進めていくことが必要です。

そこで、これらの取組を推進していく上で、分野にかかわらず共通して必要な視点を「横断的な視点」として、5つ示します。

視点1 公民連携の推進

複雑化、多様化する圏域の地域課題について、行政機関だけではなく、住民一人ひとりをはじめ、民間事業者や関係団体などの多様な主体が持つアイデアやノウハウを相互に活用し連携した取組を進めることで、質の高い住民サービスの提供や圏域の魅力向上につなげていきます。

視点2 デジタル技術の活用・DXの推進

あらゆる分野においてデジタル技術を活用し、圏域の地域課題の解決や住民の生活利便性向上を図ります。

また、オープンデータ化の推進、データの活用により、圏域内外に開かれた魅力あるまちづくりを推進します。

視点3 財政基盤の堅持

人口減少・少子高齢化に伴い、税収の減や社会保障費の増嵩など厳しい財政状況が予測される中、複雑化する行政課題に的確に対応し、行政サービスを維持しながら各施策を展開していくため、限りある予算と人材を効果的・効率的に活用しながら、将来にわたって持続可能な財政基盤を堅持します。

また、税収減を補完するため、多角的な観点から自主財源の確保に努めます。

視点4 効果的な情報発信

受け手の目線に立ち、より分かりやすい情報提供に努めます。

また、様々なツールを活用しながら、住民一人ひとりの目的や内容に応じた積極的かつ効果的な情報発信を推進します。さらに、分野に関わらず、必要に応じて圏外・県外・海外に向けた積極的なプロモーションを展開します。

視点5 SDGsの理念と17のゴールを踏まえた各施策の展開

経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することを目指すSDGs（持続可能な開発目標）への取組が国際社会全体で進められているなか、圏域においても、SDGsの基本理念と17のゴールを踏まえながら、みやざき共創都市圏ビジョンの推進を図ります。

○成果指標一覧

※は参考指標として設定する指標

基本目標1 圏域全体の経済成長のけん引

- ・ 圏域内総生産 ・ 立地企業における投資額 ・ 観光消費額 ・ 生産農業所得

重点項目1 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

- ・ 圏域住民所得（1人当たり）※ ・ 企業所得※ ・ 創業支援事業計画に基づく創業者数

重点項目2 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

- ・ 圏域住民所得（1人当たり）（再掲）※ ・ 企業所得（再掲）※
- ・ 中心市街地における日中の滞在者数 ・ 中心市街地の滞在時間

重点項目3 戦略的な観光施策の推進

- ・ 観光入込客数 ・ スポーツ合宿宿泊者数※ ・ 延べ宿泊者数 ・ 外国人延べ宿泊者数※
- ・ プロ野球キャンプ及びプロゴルフトーナメント来場者数※

重点項目4 圏域全体の経済成長のけん引に係るその他施策の推進

- ・ 宮崎港の取扱貨物量 ・ 長距離フェリーのトラック輸送台数
- ・ 農林水産物のブランド認証品販売額 ・ 新規学卒者の県内就職率（高校・大学等）
- ・ 県内企業における男性社員の育児休業取得率 ・ 県内企業における年次有給休暇取得率※
- ・ 外国人労働者数 ・ 外国人雇用事業所数※

○成果指標一覧

※は参考指標として設定する指標

基本目標2 高次の都市機能の集積・強化

・圏域滞在人口率

重点項目5 高度な医療サービスの提供

- ・第二次、第三次救急医療機関数

重点項目6 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

- ・道路や公園などの都市インフラが充実していると思う市民の割合
- ・宮崎空港路線の利用者数
- ・長距離フェリーの利用者数
- ・市内の鉄道駅主要3駅（宮崎駅・南宮崎駅・宮崎空港駅）における一日当たり乗車人員 ※

重点項目7 高等教育・研究開発の環境整備

- ・新規学卒者の県内就職率（高校・大学等）（再掲）
- ・大学と市が連携した取組事例数

○成果指標一覧

※は参考指標として設定する指標

基本目標3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・ 圏域人口の社会増減 ・ 圏域出生数

重点項目8 生活機能の強化

- ・ 三大疾病による死亡率（対人口10万人）
- ・ 認知症初期集中支援チーム支援者数
- ・ 子育て支援の満足度
- ・ 地域貢献をしたいと思う児童生徒の割合
- ・ 空き家バンクを活用して成約した件数※
- ・ 立地企業数※
- ・ 自治会加入率※
- ・ パートナーシップ宣誓制度の利用組数※
- ・ 1人1日当たりのごみ排出量
- ・ 各種がん検診（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）の受診率
- ・ 地域生活支援拠点等の登録事業所数
- ・ 将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合
- ・ 宮崎空港路線の利用者数
- ・ 認定新規就農者数
- ・ 地域まちづくり推進委員会の部会員数※
- ・ 在住外国人数※
- ・ 自主防災組織の訓練実施率
- ・ 119番通報入電から現場到着までの時間

重点項目9 結びつきやネットワークの強化

- ・ 市内路線バス1日当たり輸送人員※
- ・ 都市計画道路の整備状況（改良率）
- ・ 移住世帯数
- ・ 宮崎・国富・綾線の輸送人員
- ・ 農林水産物直売所における地場産品の販売額（推計）※
- ・ 移住世帯の3年後の定着率※